

県内ルート歩こう

東京の団体 参加呼び掛け

イザベラ・バードがたどった桃源郷



小国町の黒沢峠を踏査する「元気・まちネット」のメンバー 〓2007年6月

東京のまちづくりグループ「元気・まちネット」(矢口正武代表〓戸沢村出身)は、本県を「アジアのアルカディア(桃源郷)」と称賛したイギリスの女性旅行家イザベラ・バードがたどった県内ルートを、県内外の人たちと歩くツアーを計画している。

◇ ◇ ツアーは、「バードの道」を昨年踏査した「まちネット」の会員らがガイドを務め、自然や歴史を感じながら、ゆっくり歩いて旅を楽しむ。マイクロバスも一部使用する。矢口代表は「交通手段が発達し便利になった一方で、見落とされているものがたくさんある。歩くことで山形の素晴らしい財産を再確認できると思う」と話す。

三回シリーズで、いずれも

一泊二日。第一弾は五月十、十一の両日。コースは旧越後米沢街道十三峠から川西町小松まで。第二弾(七月十二、十三日)は南陽市赤湯から山形市まで。第三弾(九月十三、十四日)は、大石田町から真室川町及位まで。

シリーズごとに完歩した参加者に認定証を発行。これとは別に、全シリーズを完歩した人には金山杉で作った認定証をプレゼントする。

参加者を募っており、募集人員は各シリーズ五十人。費用は一日参加で三千五百円、二日間参加だと六千円(宿泊費は別途)。申し込み、問い合わせはT1300-0013 東京都墨田区錦糸3の7の11、爽(そつ) 環境計画内「元気・まちネット」の矢口さん090(5494)8699 か山新観光トラベルセンター1023(622)455。

併せて、道に関する思い出などをつづった「道にまつわる一通の手紙」を全国から募集する。家族や友人と歩い

たり、車で通ったこと、道で出会った素晴らしい風景、楽しかったこと、つらかったことなど、道に関するさまざまな思い出をつづった手紙を想定し、印象深い便りに賞を贈る。テーマ、字数は自由。あて先は「元気・まちネット」。